

社会司牧通信



202607

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★教皇庁人事：総合的人間開発省新長官にスメリッリ修道女 - バチカン・ニュース

前教皇フランシスコに続き、レオ 14 世教皇も教皇庁の中核部門である人間開発省の長官に女性を起用されました。人間開発省は、正義・平和・社会福祉・移住・健康司牧などを担当する中核部門になります。



★サンタフェ大司教区ジョン・C・ウェスター大司教様 Pax Christi USA の「2026 年 Teacher of Peace」選出！（レポート：サンタフェ 伊藤正広神父様）



この賞は、ウェスター大司教様が、教会と社会に対して核軍縮への歩みを呼びかけてこられた勇気ある誠実なリーダーシップをたたえるものです。とくに、司牧書簡『キリストの平和の光の中で生きる』、またサンタフェ大司教区、シアトル大司教区、長崎大司教区、広島教区によって設立された「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」における取り組みが評価されています。

Pax Christi USA による発表は、以下のリンクからご覧いただけます。

[Pax Christi USA recognizes Archbishop John Wester with its 2026 Teacher of Peace award - Pax Christi USA](#) ウェスター大司教様は、この賞を単にご自身個人の荣誉としてではなく、パートナーシ

ップに関わる私たち全員を代表して受け取るものである、と皆様にお伝えするよう望んでおられます。その意味で、この受賞は、核兵器のない世界を目指すこの共通の使命を支え、励まし、共に担ってくださっているすべての方々への励ましでもあります。

皆様のこれまでのお支え、お祈り、そして福音の平和のメッセージへのご協力に、心より感謝申し上げます。



●広島外キ連学習会 2026

「入管法改定に伴う滞在外国人の生活変化の実情」

*チラシ添付あり

日時：2026 年 7 月 12 日(日) 14:00～16:00 (開場 13:30)

会場：在日大韓基督教会 広島教会 資料代：500 円

講師：滑川和也弁護士

*録画配信有(ご希望の方は、デスクまでご連絡ください)

2024 年入管法が改定され、ますます難民申請者、非正規滞在者への締め付けが強化され、人権の観点から深刻な内容となっています。

改定入管法を学び、外国人の人権について考える機会になると思います。

広島外キ連学習会2026

入管法改定に伴う 滞日外国人の生活変化の実情

2024年に入管法が改定されました。この改定は、難民申請者、非正規滞在者への締め付けを強化する内容で、人権の観点から深刻な問題をはらむものです。昨今の選挙では、排外主義を掲げる政党が支持されると、日本社会における滞在外国人に対する差別の問題は、深刻化しています。改定入管法を学び、外国人の人権について考える機会にならばと思います。

日時：2026 年 7 月 12 日(日)
14:00-16:00 (開場13:30)

講師：滑川 和也 (なめりかわ かずや) さん

弁護士、広島弁護士会所属
2006年に弁護士登録して以来、外国にルーツを持つ人の人権擁護に取り組む。現在は、日本弁護士連合会人権擁護委員会外国人の権利部会の部会長として、入管・難民問題、国籍の問題、差別の問題などに取り組んでいる。

資料代：500円

会場：在日大韓基督教会 広島教会
広島県広島市西区上元町9-3 ☎082-234-0798
広電「観音町」電停 北へ徒歩5分。駐車場はありません。

◆同時配信はありません。後日、録画配信を予定しています。
視聴をご希望の方は、問い合わせ先にご連絡ください。

主催：共催：問い合わせ

主催：外国人住民との共生を実現する広島キリスト教連絡協議会 (広島外キ連)
共催：カトリック広島教区正義と平和推進デスク、広島YWCA
在日大韓基督教会西部地方委員会、日本基督教団広島部会
集金問い合わせ：日本基督教団広島本部教会
☎082-261-2005 ☐hiroshimaitoubu@gmail.com



『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』(14)「星空が見つめてくれている」
ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)

星空に呼ばれていたのかな、と思う。ひと月前には、伊豆諸島の神津島、おたあジュリアの丘から眺めた満天の星空に涙が流れる思いだった。そして、マコは昨日、岡山からローカル線に乗り換え、谷あいの緑と川を通り抜けていく西日本の美しい風景を眺めながら、いつしかマドゥが住む街へと辿り着いた。マコはマドゥがスリランカから来て間もなく、西の街で日本語を勉強している時に会った。それ以来、いろんなことを分かちあう大切な友人だ。勉学を終え、この4月から山に囲まれた岡山と兵庫の県境のこの街で働き始めたのだ。土曜日の夜、マドゥが通う教会のミサに参加すると、石井さんというご夫婦が、「家から星空がよく見えるんですよ」という声に目を輝かせたマコとマドゥをその街を流れる川の上流へと遡っていったところにある家へと連れてきてくれたのだ。石井さんは、家の離れに天体観測用の小屋を作って、かなり立派な天体望遠鏡を設置して、毎晩星空を観測しているのだという。見上げると、空一面に星々が輝いている。しばらく見惚れていると、「さあ、ここに映っているのは、もう一つの銀河なんです」と、天体望遠鏡から見える星空をアイパッドに映し出し、画面を指差しながら宇宙についての説明を始めてくれた。私たちが住む地球が属する天の川銀河は、膨張を続けていく宇宙の数限りなくある銀河の一つに過ぎないこと、私たちを照らしてくれる太陽は、宇宙にはそれぞれの太陽系の太陽がいくつもあること、宇宙における地球の住所は、「ラニアケア超銀河団の外れにある、おとめ座銀河団内の銀河が少ない方にある天の川銀河、その二本の大きな腕の間にあるオリオン座腕と呼ばれる星の集まりの端に太陽系の第三惑星」なのだと教えてくれた。実際に天体望遠鏡を覗き込み、中心に捉えている子持ち銀河と呼ばれる、光の粒子の渦状の集まりを確認しながら、想像を超えた宇宙の広大さに言葉を失った。この宇宙の中で本当に小さな惑星に過ぎない地球の、宇宙の歴史の中ではほんの一瞬に過ぎないこのわたしたちの人生が、それにもかかわらずとても貴重なものだという逆説が不思議にも胸に迫ってくるのだ。

石井さんは言った。「子どもたちがまだ赤ん坊の時、夜泣きを始めると、外に連れて行って星空を見せると泣きやんだものです。星空というのは不思議な力があるんですよ。文明社会が星空を失ったのは、人間の心にとって大きな損失だろうな、と思うんですよ。」マコが、一ヶ月前に訪れた神津島の星空の話をする、石井さんは教えてくれた。「都会に行くと、街の明かりの光害で星空が見えなくなっちゃうんです。その光害の度をポールトという言葉で表すんですが、東京なんかはポールト9とかでしょう。ここはポールト3で、星が美しく見える街として有名なんです。おそらくマコさんが行った神津島は絶海の孤島のようなもので、ポールト1なのでしょう。」

西の街に戻り、ミヒャエル・エンデの『モモ』の好きな箇所をめくってみる。モモが時間の国に辿り着き、耳を澄ませると音楽が聞こえ、その中に言葉を聞き取るのだ。「それは、太陽と月とあらゆる惑星と恒星がじぶんたちそれぞれの本当の名前をつけている言葉でした。」そしてモモはさる。「これらのことはすべて、自分



に語りかけられたものなのです！全世界が、はるか彼方の星々にいたるまで、たった一つの巨大な顔となってモモの方を向き、じっと見つめて話しかけているのです！」ああ、そうか、星空を見ながら味わったあの感覚は、星が私を見つめてくれている感覚だったのだ。この小さな存在の私が大きな愛で愛されている存在なのだという感覚。その音楽と言葉をモモは心の中で聴いたのだ。私も、心の中の偽りの光を消して、ポールト1の星空を目指していけば、モモのように音楽が聴こえるかな、と思った。
(つづく)

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・SocialH・Social***H・Social***H・Social***H・Social***H・Social***

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net